

	第1次泉南市総合計画	第2次泉南市総合計画	第3次泉南市総合計画	第4次泉南市総合計画
内 容	基本構想のみ	基本構想・基本計画	基本構想・基本計画	基本構想・基本計画
策定年度	昭和46年	昭和57年	平成元年	平成13年度
目標年次	昭和60年度	昭和65年	2001年(平成13年)	2010年(平成22年)
目標人口	100,000人	65,400人 関西国際空港が昭和67年度に一部開港するなら 72,900人	80,000人	75,000人
将来像	みどり豊かな田園都市・泉南 スリーブルー政策(紺碧の空、緑の山、青い海)	—————	『海・緑・ロマン 臨空都市泉南』 世界に開かれた心のふれあう住みよいまち	水・緑・夢あふれる生活創造都市 泉南
まちづくりの 基本方向 (施策の大綱)	(1)道路の早急な整備。臨海道路、国道第二阪和線、 高速自動車道の建設促進。生活道路、学童通学 道路等の拡充整備。市内交通の緩和及び円滑化 の促進。	(1)優れた定住条件となごやかさに満ちた都市 社会教育に意欲的な都市 水と緑を取り込んだ都市	(1)安心して住めるゆとりとやすらぎのあるまち 住環境の整備 安全で便利なまちづくり 魅力ある都市空間づくり	(1)ふれあいのあるまち、いきがいのあるまち すべてのひとが共同参画できる共生の地域づくり 子どもがいきいきと学べる学校づくり だれでも、いつでも、どこでも学べる社会づくり 文化・歴史を活かした豊かな心づくり 地球市民としての意識づくり
	(2)自然破壊の防止、自然と緑の確保に努める。堀河 ダムを中心とした緑地保全区域は開発抑制し、新鮮 な都市空間として保全を図る。市の中心部に公園 緑地の適正配置を図り、地域住民の憩いの場とする。	(2)活発な産業・文化活動を展開する都市 社会教育に意欲的な都市 広域的連携を進める開放的な都市	(2)豊かな人間性をはぐくむ教育と文化のまち 生涯学習体制の整備 市民文化の創造 差別のない社会の実現	(2)げんきなまち、やさしさのあるまち 市民の健康づくり ともに生きる社会づくり
	(3)市の中心部に市民会館をはじめとする総合市民 センターを建設し、健康でかつ文化性の高い市民 生活の実現に努める。	課題別基本方針 市民の交流促進と潜在力の強化	(3)健康と思いやりでいきいきと暮らせるまち 市民の健康づくり 福祉都市の実現	(3)安全なまち、活力のあるまち 環境にやさしいまちの基盤づくり 安全で災害に強い防災都市づくり 安全で便利な地域づくり 都市、自然と調和したものづくり 泉南ブランドづくり 充実した労働・消費生活づくり 利便性を向上する情報ネットワークづくり
	(4)上水道は増加する人口に見合う水資源の確保を 考慮し、施設の総合整備を行い、水質基準の維持 向上に努める。	緑と水の都市づくり 経済の活性化 新空港建設の影響への対応 都市づくりへの市民参加と合理的都市経営	(4)空港とともに産業が栄える活力あるまち 農林水産業の振興 工業の振興 商業・観光サービス業の振興 健全な産業活動の展開	(4)快適なまち、個性のあるまち 水・緑の環境づくり 住みたい生活環境づくり 交流ネットワークづくり 個性あるまちの顔づくり
	(5)下水道については、大阪湾岸下水道計画を促進し、 都市下水路の改善により環境整備と公害防止を 図る。	部門別基本方針 地域社会づくり 産業振興 都市基盤形成 行財政合理化	(5)市民参加で未来に生きるよこびのまち 市民参加のまちづくり 計画的な行財政運営の推進	
	(6)住宅は土地利用の高度化を図りながら、公団、 公営、民間企業により質量ともに充実した計画 的な建設を促進する。			
	(7)同和対策、老人対策、障害者対策等に積極的に 措置を講じるほか、市民の健康を保持する対策を 推進する。			
	(8)流通機構の整備が必要。その対策として商業地域 の基盤整備を促進し、商業活動円滑化をはかる。			
	(9)工業について、地場産業発展のため労働力の確保、 近代化への技術改革と併せて産業公害が生じないよ う立地条件に適合した指導育成に努める。			
	(10)農林業について、無秩序な都市化からまもり、生 産性の向上を図るとともに、漁業も含め都市化と計 画的に対処する。			
	(11)初等教育、中等教育は長期的な視野に立った教 育機会均等、教育内容の充実向上とこれを可能とす る教育環境施設の整備をはかり、通学通園安全確 保のための校区を検討する。			